



こんな質問をしました

新斎場の整備には市民の理解を得て。

名古屋市では現在、平成20年には八事斎場の火葬能力が限界になると見込まれることや、大規模災害時の対応などを考慮し、新斎場が必要とされています。

そこで環境アセスメントに対する考え方、地理的な配慮、ダイオキシン対策などについて、積極的な情報公開に努め、広く市民の理解を得て新斎場の整備に取り組んでいくべきではないでしょうか。

(平成12年3月2日、平成15年3月5日・名古屋市会本会議にて)



札幌市山口斎場



大阪市立北斎場

その後このような施策につながりました

- 予定地公表
- 市公式ホームページに「新しい斎場（第2斎場）づくりを進めます」コンテンツ開設
- 地元町内会組回覧による情報提供
- 都市計画決定
- 新斎場ニュースレターの発行